

**地域の住民が誇りと愛着を持つことができる
活気に満ちた地域社会を実現します！**

観光立国推進基本法の 制定について

**～魅力ある観光地づくりと国際・国内観光の振興
を推進し、観光立国を実現～**

それぞれの地域が持つ特色を生かした魅力ある観光地づくりの取組みを推進するとともに、それぞれの地域の伝統、文化などの魅力を内外に発信して国際・国内観光を振興するなど、観光立国の実現に関する施策を総合的、計画的に推進します。

平成18年12月

担当：東北運輸局企画観光部

国際観光課 TEL：022（791）7510

観光地域振興課 TEL：022（380）1001

～皆様へ～



観光立国推進基本法の制定により、私達が誇りと愛着を持つことができる活気に満ちた地域社会を実現します。

政府は、観光立国推進基本計画(マスタープラン)を策定します。

各地域で、創意工夫を生かした主体的な取組みを推進します。

国際競争力の高い 魅力ある観光地の形成

- 国際競争力の高い魅力ある観光地の形成
- 観光資源等の保護、育成
- 交通施設の総合的な整備

観光産業の 国際競争力の強化

- 観光産業の国際競争力の強化
- 観光振興に寄与する人材の育成

観光立国の実現 — 住んでよし、訪れてよしの国づくり —

国際観光の振興

- 外国人観光旅客の来訪の促進
- 国際相互交流の促進

国内外からの観光旅行の 促進のための環境の整備

- 観光旅行の容易化、円滑化
- 観光旅行者に対する接遇の向上
- 観光旅行者の利便の増進
- 観光旅行の安全の確保
- 新たな観光旅行の分野の開拓
- 観光地の環境、景観の保全
- 観光に関する統計の整備

観光立国推進基本法案の概要

平成18年12月

1. 題名及び前文の改正

- (1) 題名：「観光基本法」→「観光立国推進基本法」。
- (2) 前文：少子高齢社会の到来や本格的な国際交流の進展を視野に「観光立国の実現を21世紀の我が国経済社会の発展のために不可欠な重要課題である」と位置付け。

2. 施策の基本理念

(1) 豊かな国民生活を実現する上での“住んでよし・訪れてよしの国づくり”の意義、(2) 国民観光旅行の促進の重要性、(3) 国際的視点の重要性、(4) 関係者相互の連携の確保の必要性を規定。

3. 関係者の責務等

地方公共団体の責務を「自主的かつ主体的に区域の特性を生かした施策の策定・実施」及び「地方公共団体相互の広域的な連携協力」に改めるほか、住民の役割及び観光事業者の努力を新たに規定。

4. 「観光立国推進基本計画」の作成

施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、観光立国推進基本計画の作成（閣議決定）を新たに規定。

5. 観光立国の実現のための新たな国の取組に関する規定の整備

新たな国の取組について、次のように規定。

- ① 国際競争力の高い魅力ある観光地の形成
- ② 観光資源の活用による地域の特性を生かした魅力ある観光地の形成（良好な景観、文化・産業に関する観光資源等）
- ③ 国際競争力の高い魅力ある観光地への来訪の促進に必要な交通施設の総合的整備
- ④ 観光産業の国際競争力の強化
- ⑤ 観光の振興に寄与する人材の育成
- ⑥ 外国人観光旅客の来訪の促進
- ⑦ 国際相互交流の促進
- ⑧ 観光旅行の容易化及び円滑化（休暇制度の改善等休暇取得の促進、観光旅行の需要の特定の時季への集中の緩和等）
- ⑨ 観光旅行者に対する接遇の向上（旅行関連施設の整備、伝統のある優れた食文化、産業等の紹介の強化等）
- ⑩ 観光旅行者の利便の増進（観光地のユニバーサルデザイン化等）
- ⑪ 観光旅行の安全の確保
- ⑫ 新たな観光旅行の分野の開拓（自然体験活動又は農林漁業に関する体験活動を目的とする観光旅行、心身の健康の保持増進のための観光旅行等）
- ⑬ 観光地における環境及び良好な景観の保全（自然体験活動を通じた環境の保全に対する理解の増進等）
- ⑭ 観光統計の整備

※詳細は国土交通省HPをご覧ください。

○国土交通省HP

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanko/061220kihonhou.html>